

アート作品展開催

ゆるり

2025年1月22日から2月12日まで、びわ湖図書館玄関ホールにて開催しました。

本展示会では、利用者の皆さんが日々の活動の中で制作した絵画作品を展示。個性豊かな作品の数々が来場者の目を楽しませました。会場に設置していたアンケート用紙には、多くの方から感想や励ましのお言葉をいただきました。これらの声は、利用者の皆さまやスタッフにとっても大きな励みとなり、非常に実り多い機会となりました。



ライフまいばら

2025年2月1日から9日まで、米原市近江学びあいステーションにて開催しました。

本アート活動は2014年度から始まり、今年で11年目を迎え、この長い期間の積み重ねにより、一人ひとりの作品の完成度が年々高まっております。ご来場いただいた方々からも、数多くの称賛のお言葉を頂戴しました。利用者の皆さんにとって、こうした温かい評価は作品制作の喜びや次回への意欲につながっています。

ふくらの森

今年はふくらの森アート展を2月21日～3月2日に浅井文化ホールで開催しました。

利用者の皆さんとひとしよに準備、設置をし手作り感ある作品展になりました。

多くの方に来館頂き、温かいメッセージを頂きました。アーティストたちは、もう次回作に向け意欲的に取り組んでいます。



各作品展の開催にあたりご協力いただいた関係者の皆様、そして足をお運びいただいた全ての方々に、心より御礼申し上げます。

広報

こほくかい

春

号

○発行／湖北会 広報室(法人本部)

○住所／滋賀県長浜市富田町431番地5

○発行者／北野 憲一

○発行日／令和7年4月21日

2025年度 社会福祉法人湖北会事業計画

2025年（令和7年）度社会福祉法人湖北会の事業展開

法人理念 **すべては、あなたの「笑顔」のために**

経営方針 **その人らしく、地域で働きたい、暮らしたい、楽しみたいを応援します。**

昨年度の報酬改定では、意思決定支援の推進や、より重度の障害者の支援や地域移行支援を厚く、虐待や身体拘束、権利侵害を厳しく評価する報酬体系が整えられました。障害のある方の人権を尊重し、望む暮らしの実現に向けた支援を行っていくためには、専門性の向上が益々求められていくとともに、深刻化している人材不足の解消に向けて努力をしていかなければなりません。

このような状況において、法人理念『すべては、あなたの「笑顔」のために』の実現に向けて基本に立ち返り、障害のある方々が希望する地域生活を実現する地域づくりの一翼を担えるよう専門性の向上に努め、効率的、効果的な運営を行う努力をしていきます。

専門性の向上につきましては、研修機会の確保に加えて、支援者の豊かな人間性と認め合い高め合える組織環境や組織文化をつくりあげていくことが必要となります。現在の組織体制の評価・見直しを行い、働きやすく・魅力ある職場となるよう、組織の変革を行っていきます。

施設整備につきましては、本年度から「はたらき・くらし応援センターこほく」が事務所を長浜市民交流センターに移転し運営します。これに伴い、職員は「NPO 法人りんくす」への出向を解き、湖北会事業所職員として従事します。

また、長浜市小室町の湖北まこも従たる事業所「ほっぷる」は、今年2月に湖北まこも地域交流ホーム、作業棟へ移転し4月から本格的に始動しました。

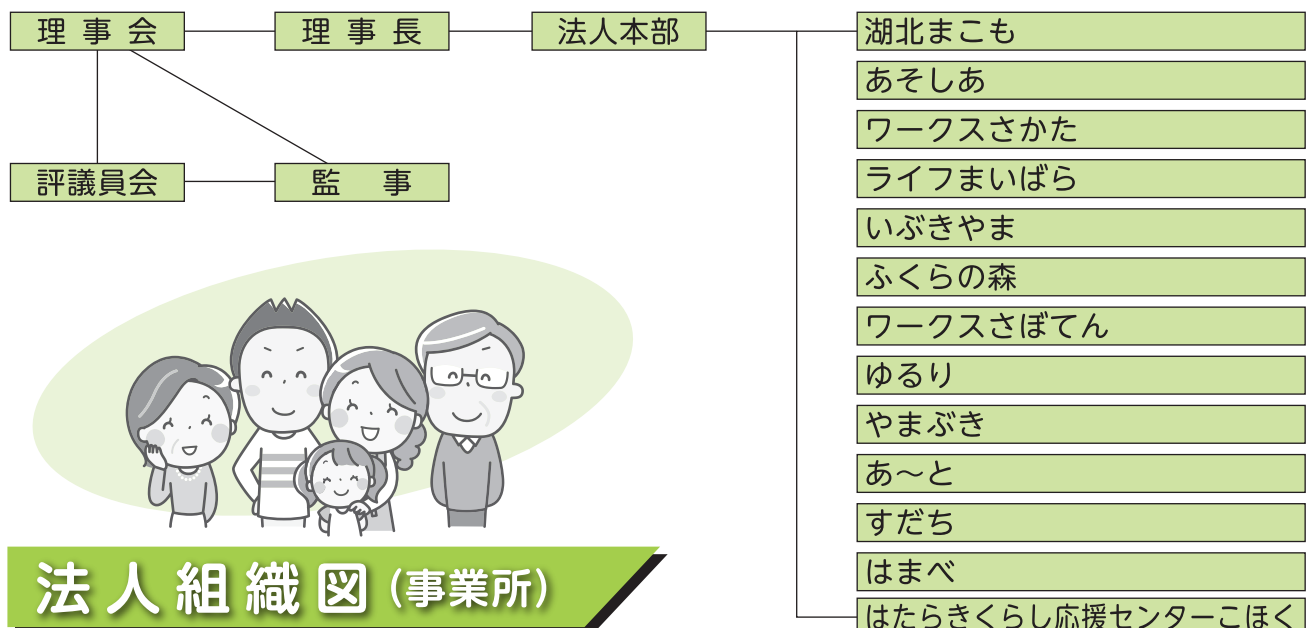
なお、2025年（令和7年）度の重点事業は、次の通りです。

- ★虐待防止・権利擁護について研修や法人内での情報共有を行ない、意識の向上・啓発を図っていきます。
- ★相手を尊重し、困っていることを互いに助け合うことでハラスメントを予防し、一人ひとりが働きやすく活躍できる職場環境を構築します。
- ★組織力を高めるために、本部機能の強化やマネジメント体制の強化に努めます。また、業務の効率化・生産性の向上・サービスの質の向上を目的としてICTの導入や業務の仕組み化を進めます。
- ★工夫を凝らした求人情報の発信や求人活動を行い、人材の確保に努めていきます。
- ★業務の効率化・サービスの質の向上を目的としてICTの導入や業務の見直しを進めます。
- ★施設整備改修等

旧ほっぷる建屋の解体

ライフまいばら別館改修工事（県単補助金申請結果による）

本年度も、法人一丸となって、法人経営方針であります「その人らしく、地域で働きたい、暮らしたい、楽しみたいを応援します。」の実現に向けて、邁進してまいりますので、ご支援ご協力をよろしくお願いします。



令和7年度 年度初め式を開催

令和7年度の年度初め式が4月1日に開催され、評議員、監事をはじめ157名の職員が出席しました。

理事長の訓示では、人権尊重の再認識について言及がありました。不適切な行為につながるような場面があった際は、すぐに指摘すること、責めるのではなく、職員全員で話し合える職場づくりを目指すことが強調されました。

また、地域生活を意識した支援について、湖北会の各事業所で培った支援のノウハウを地域社会に発信し続けることの重要性も述べられました。地域社会の一員としての責務を果たすことを常に意識する一年にしたいとの方針が示されました。

式典では、新入職員の紹介、永年勤続表彰が行われ、職員一同、温かい拍手で歓迎しました。最後は、当会のPRソングを合唱し、新年度への決意を新たにしました。



新顔登場

新入職員紹介

- ①出身市 ②配属先
- ③趣味・特技
- ④入職にあたっての抱負

- ①長浜市
- ②あそしあ
- ③ゴルフ
- (再開予定)



みつや いくお
三家 郁男

④4月1日よりあそしあ配属にてこれからお世話になります。障がい支援は初めてで、色々とお迷惑をお掛けしますが宜しくお願い致します。性格は、明るくおしゃべり好きなので気軽に声をかけて下さい。

- ①長浜市
- ②いぶきやま
- ③ライブ鑑賞釣り



たなか かつのり
田中 克宜

④4月より着任いたしました田中と申します。福祉の業界は初めてで、日々学びながら業務に励んでおります。皆さまのお力になれるよう、一日でも早く成長していきたいと思っております。これからどうぞよろしくお願いいたします。ぜひご指導、ご助言をいただけますと幸いです。

- ①長浜市
- ②はたらき・くらし応援センターこほく
- ③散歩、映画鑑賞



たんば よしみつ
丹波 義光

④はたらき・くらし応援センターに配属された丹波と申します。以前あそしあに勤務した経験があります。慣れないことも多く毎日緊張していますが、あせらずに業務をしっかりとみにつけていきたいと思っております。

4月1日付け正規職員に登用された方

西川 博子(法人本部)／服部 江美利(湖北まこも)／那須 直子(湖北まこも)／竹森 さなゑ(湖北まこも(ほっぷる))
轟 陽子(ワークスさぼてん)／大林 由紀美(はまべ)／木崎 かおり(生活支援センターあ〜と)／関本 由貴(すだち)

公益財団法人日本財団様の助成を受けて

この度、公益財団法人日本財団様の助成事業により、車両購入・整備をすることができました。「ワークスさかた」において使用します。

車両は、乗降についても安心して利用できるステップ付きです。

送迎利用だけでなく、外勤等の就労面でも車両を使って幅広く活動を行っていきます。

「日本財団様、ありがとうございました。」



法人単位資金収支予算書

【令和7年度 当初予算】

(単位:円)

	予算額	前年度予算額(補正)	差引増減額
就労支援事業収入	43,648,000	43,648,000	0
下請事業収入	20,737,000	20,737,000	0
自主事業収入	6,911,000	6,911,000	0
受託事業収入	16,000,000	16,000,000	0
障害福祉サービス等事業収入	1,607,102,000	1,601,322,000	5,780,000
自立支援給付費収入	1,357,550,000	1,352,750,000	4,800,000
障害児施設給付費収入	29,530,000	29,530,000	0
利用者負担金収入	1,419,000	1,444,000	△ 25,000
補足給付費収入	13,040,000	13,076,000	△ 36,000
特定費用収入	114,980,000	108,918,000	6,062,000
その他の事業収入	90,583,000	95,604,000	△ 5,021,000
経常経費寄附金収入	90,000	168,000	△ 78,000
受取利息配当金収入	1,049,000	1,046,000	3,000
その他の収入	8,072,000	9,562,000	△ 1,490,000
事業活動収入計 (1)	1,659,961,000	1,655,746,000	4,215,000
人件費支出	1,160,782,000	1,134,011,000	26,771,000
事業費支出	186,146,000	189,161,000	△ 3,015,000
事務費支出	180,292,000	164,537,000	15,755,000
就労支援事業支出	43,648,000	43,648,000	0
就労支援事業販売原価支出	13,790,000	13,790,000	0
就労支援事業販管費支出	29,858,000	29,858,000	0
支払利息支出	1,230,000	1,483,000	△ 253,000
その他の支出	7,227,000	7,227,000	0
事業活動支出計 (2)	1,579,325,000	1,540,067,000	39,258,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	80,636,000	115,679,000	△ 35,043,000
施設整備等補助金収入	2,765,000	62,525,000	△ 59,760,000
施設整備等寄附金収入	0	0	0
設備資金借入金収入	0	0	0
固定資産売却収入	0	1,795,000	△ 1,795,000
その他の施設整備等による収入	0	0	0
施設整備等収入計 (4)	2,765,000	64,320,000	△ 61,555,000
設備資金借入金元金償還支出	24,050,000	25,375,000	△ 1,325,000
固定資産取得支出	8,000,000	180,163,000	△ 172,163,000
ファイナンス・リース債務の返済支出	2,112,000	2,112,000	0
施設整備等支出計 (5)	34,162,000	207,650,000	△ 173,488,000
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 31,397,000	△ 143,330,000	111,933,000
積立資産取崩収入	0	64,900,000	△ 64,900,000
拠点区分間繰入金収入	0	1,178,000	△ 1,178,000
その他の活動による収入	0	0	0
その他の活動収入計 (7)	0	66,078,000	△ 66,078,000
積立資産支出	8,903,000	8,766,000	137,000
拠点区分間繰入金支出	0	27,850,000	△ 27,850,000
その他の活動支出計(8)	8,903,000	36,616,000	△ 27,713,000
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 8,903,000	29,462,000	△ 38,365,000
予備費支出(10)	40,336,000	1,811,000	38,525,000
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0
前期末支払資金残高(12)	672,761,000	675,910,844	△ 3,149,844
当期末支払資金残高(11)+(12)	672,761,000	675,910,844	△ 3,149,844

編集後記

今年は例年がない3月の寒波となりましたが、ようやく春が訪れ暖かな季節となりました。桜の便りとともに、お花見、観光、地域イベントなど行楽シーズンとなり、おでかけする機会が増え、心も体もウキウキワクワクとしてきます。

ご家族やご友人を大切に、記念撮影などして、春のいい思い出を作ってください。

編集委員 東野